

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 28 年 9 月 23 日 (2016.9.23)

【公開番号】特開 2016-129370 (P2016-129370A)  
 【公開日】平成 28 年 7 月 14 日 (2016.7.14)  
 【年通号数】公開・登録公報 2016-042  
 【出願番号】特願 2016-21904 (P2016-21904)  
 【国際特許分類】

H 0 4 W 24/04 (2009.01)

H 0 4 W 48/18 (2009.01)

H 0 4 W 68/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 24/04

H 0 4 W 48/18 1 1 1

H 0 4 W 68/12

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 8 月 8 日 (2016.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モバイル発信呼を試みることと、

前記モバイル発信呼を試みることに応答して、サービス品質 (QoS) 障害メッセージを受信することと、

必要とされる QoS をもつ専用ベアラがローカルでセットアップされている場合、前記 QoS セットアップ障害が宛先におけるリソースの欠如に起因することを判断することと、

所定の時間の後に前記モバイル発信呼を確保するために、前記モバイル発信呼を再び試みることと

を備える、ワイヤレス通信のための方法。

【請求項 2】

モバイル発信呼を試みるための手段と、

前記モバイル発信呼を試みることに応答して、サービス品質 (QoS) 障害メッセージを受信するための手段と、

必要とされる QoS をもつ専用ベアラがローカルでセットアップされている場合、前記 QoS セットアップ障害が宛先におけるリソースの欠如に起因することを判断するための手段と、

所定の時間の後に前記モバイル発信呼を確保するために、前記モバイル発信呼を再び試みるための手段と

を備える、ワイヤレス通信のための装置。

【請求項 3】

モバイル発信呼を試みることと、

前記モバイル発信呼を試みることに応答して、サービス品質 (QoS) 障害メッセージを受信することと、

必要とされる QoS をもつ専用ベアラがローカルでセットアップされている場合、前記

QoS セットアップ障害が宛先におけるリソースの欠如に起因することを判断することと、

所定の時間の後に前記モバイル発信呼を確保するために、前記モバイル発信呼を再び試みることと

を行うように構成される少なくとも 1 つのプロセッサと、

前記少なくとも 1 つのプロセッサに結合されたメモリと  
を備える、ワイヤレス通信のための装置。

【請求項 4】

ワイヤレス通信のためのコンピュータプログラムであって、

モバイル発信呼を試みることと、

前記モバイル発信呼を試みることに応答して、サービス品質 (QoS) 障害メッセージを受信することと、

必要とされる QoS をもつ専用ベアラがローカルでセットアップされている場合、前記 QoS セットアップ障害が宛先におけるリソースの欠如に起因することを判断することと

、

所定の時間の後に前記モバイル発信呼を確保するために、前記モバイル発信呼を再び試みることと

を行うための、1 つまたは複数のプロセッサによって実行可能なコードを備える、コンピュータプログラム。